

大書院での前撮りを楽しむ外国人カップル
=篠山市北新町で



「ウイズささやま」ら企画

大書院で“前撮り”

婚前撮影と観光に

篠山市北新町の国指定史跡・篠山城跡と大書院を舞台に、「フォトウェディングと観光」を目的に日本を訪れる外国人らが結婚式前に撮影を行う「前撮り」事業が好評を博している。外国人にとっては“ハイテク大国”日本の中での伝統文化に触れる機会であり、篠山城跡にとっては日本遺産に認定されたまちを世界にPRすることにもつながる事業。施設を管理し、神戸の会社と連携して事業に取り組んでいる一般社団法人「ウイズささやま」は、「外国の方に篠山で良い思い出をつくってもらえれば」と話している。(森田靖久)

羽織袴に白無垢姿

中国や東南アジアなどでは、日本に旅行に訪れた際に、神社や寺などの伝統建築や自然の景色を背景に前撮りを行い、帰国後に開く結婚式などで撮影した写真を使用することが流行。近年の外国人観光客増加に伴い、前撮りを希望する外国人も急増しているという。外国人のニーズを事業化したのが、神戸市に本社を置き、ウェディングフォト事業に取り組んでいる株式会社「レックラウィ・ファクトリー」。国内だけでなく、海外向けにも、日本全国

外国人カップルに好評

で前撮りができる場所を取り上げ提案している。同社スタッフが篠山城跡のことを知り、会場としての使用を打診。篠山城跡側にとっても広く篠山のPRになる事業として連携することになった。

篠山城跡では、これまで香港やマカオなどのカップルが前撮りを行っており、このほど、組むとなる香港在住のカップルが来場。羽織袴の男性と白無垢姿の女性が大書院内や城跡内で撮影に臨み、満面の笑みを浮かべながらフレームに収まっていた。

男性は、「日本はパソコンをはじめ、ハイテクというイメージがあるが、このような伝統的な場所での撮影できてうれし」と話していた。

同社の担当者は、「篠山城跡はスケール感が好評。また施設の中で撮影できる場所は少なく、とても良いロケーション。日本の原風景として外国に提案できる」と太鼓判。ウイズの廣岡和哉さんは、「使用してもらえるのはこちらもありがたい。撮影場所という観点で篠山を見ると、新しい魅力を発信できるのでは」と話していた。